

【第1課】

学習者の例（原文ママ）：

○書きましょう

1. あまり乾燥機を使いません。

日本人はだいたいスーツを洗ってもらいますが、スーツはほとんど自分で洗います。

洗濯に関することはほとんど同じなのですが、たたみのそうじするときはベトナムなら水で洗います。

洋服だけでなく、下着と靴下にもアイロンをかけます。

2. 私が担当している利用者さんは ADL も IADL が自立していません。

日常生活の中で ADL は介護職が判断して介助するが、
IADL は家族と相談してから適切な介助を決めて、実施する。

担当している利用者さんは、「ADL」「IADL」が自立していません。
ADL の中で入浴と排泄を支援しなければならない。
IADL の中で全部支援しなければならない。

まだ担当している利用者さんがいません。
日常生活の中で食事介助とかお風呂など行っています。
ほとんどみんなお元気だから、あまり介助していません。
自主リハビリで、みんな自立でやってもらいます。

【第2課】

学習者の例（原文ママ）：

○書きましょう

1. お正月の料理など
2. ・食事介助のとき、誤嚥にならないように気をつけていることは
 - ・食事姿勢
 - ・しっかり目覚めてから食事を始める
 - ・食事の温度

誤嚥が起きた時、入れ歯を外す。他の職員を呼ぶ。タッピングをする。

- | | |
|-----------------------|------------------|
| ・誤嚥が起きないように気をつけること： | 誤嚥が起きた時： |
| 1. 口腔の清潔を保つ | 窒息の危険性があるので食物または |
| 2. いすの高さ | 異物をすみやかに取り除く |
| 3. テーブル（ひじがつく） | |
| 4. 食べる前に水分を飲んだ方がいい | |
| 5. 食事姿勢を適切にすることが重要である | |
-
- ・食事介助の時、誤嚥にならないように気をつけている事は
 1. 食事時の姿勢
 2. 適正な一口量ずつ口に入れてよく嚙む
 3. 現状で本人が飲み込みやすい食事形態で食事を作る。
例えば肉などは小さく切っておく。

【第3課】

学習者の例：

○書きましょう

1. テキスト参照

2. テキスト参照

【第4課】

学習者の例：

○書きましょう

1.

- ・関節リウマチの症状

関節の変形、こわばり、腫れ、痛みなどである。

指や足の関節の変形に加えて、熱っぽい、体がだるい、食欲がない

関節の形はだんだん曲がってしまう

対応：

症状の悪化を遅らせる薬を使う

手術を受ける方法もある

- ・手と足の関節が腫れて変形しています。動くとき痛みがあります。ですから動くことがいやそうです。症状に対応することは食事の自助具やスプリントを使います。
- ・施設に関節リウマチの利用者がいます。手の指と足の指の関節の変形に加えてこわばり、腫れ、痛みなどがあります。

2.

- ・昼間寝ないようにレクリエーションに参加していただく。昼間出かけていただく。
- ・午後から運動をして、体をくたびれさせます。そして昼寝をしないことです。
- ・昼間起きてもらってレクリエーションに参加するのを促す。たとえば屋上散歩とか、歌を歌うとか、そして、Cさんと話すとか。
- ・夜寝る前に足浴を行う。

【第5課】

学習者の例：

○書きましょう

1.

- ・主な症状は ①安静時振戦 ②筋固縮 ③動作緩慢 ④姿勢反射障害
仮面用顔貌 前かがみ姿勢 小刻み歩行 すくみ足、うつ症状、認知症
- ・私の施設にはパーキンソン病の人がいます。2時間くらい（に1回）体位変換を行う。
エアマットのベッドを使います。
- ・動きが素早くできない。歩く時に足が出にくくなる。話し方によくようがなくなり、声が小さくなる。
書く文字が小さくなる。片方の手や足のふるえから始まることが多い。
- ・パーキンソン病の利用者さんの症状は両手足がふるえる。
日常生活の対応で食器の下にすべり止めをしておく。
- ・歩くとき、手が震える。姿勢保持障害から転倒しやすい。気分が落ちこむ。

2. 省略

【第6課】

学習者の例：

○書きましょう

1.

- ・私の施設に糖尿病の症状を持つ利用者がいます。多飲、多尿、疲れやすい状態があります。
- ・糖尿病の利用者さんの症状
 - 手足がしびれる
 - 便秘
 - 視力が低下しているので目が見えにくくなる
- ・私の施設には糖尿病の症状を持つ利用者がいます。やせて指がかんそうしています。
- ・私の施設に糖尿病の症状を持つ利用者がいます。尿の量が多い。尿の回数も増える。

2.

- ・私だったら、すぐに看護師に報告します。看護師に見てもらって、しじにしたがって対応したいと思います。
- ・私なら看護師に内線して、ベッドで休んでもらって血糖値を測定してもらいます。
- ・私だったら、まずそのことを看護師さんに報告します。それから車いすでお部屋に連れて行って休ませます。

【第7課】

学習者の例：

○書きましょう

1.

・症状

ろれつが回らない、手足がしびれる、記憶障害、注意障害、日常生活能力の低下

・脳血管疾患の代表的なものに、脳梗塞、脳出血、くも膜下出血があります。脳が障害される場所によって変わります。大きく分けると、運動障害や日常生活の能力の低下、知覚障害、言語障害が出ます。

・はい。います。片麻痺になっています。そして言語障害があります。

・はい。いらっしゃいます。話すとき言葉がはっきり出ない。激しい頭痛などがあります。

2.

・リハビリテーションは時間がかかることなので、あきらめないでくださいと励ます。

・私だったら、「Hさん、リハビリを頑張れば、きっと自宅に戻れますよ」と言います。

・前からがんばってきたんですね。きっと自宅に戻れますよ、と言います。

・まず、Hさんの気持ちを受け取る。それから、Hさんのような人の例をあげて励ます。

・「リハビリがうまくいなくて、不安なのですね。」と言います。

【第8課】

学習者の例：

○書きましょう

1.

- ・私の施設にはアルツハイマー型認知症の方がいらっしゃる。
もの忘れや、記憶力・判断力の低下、記憶障害が見られます。
- ・レビー小体型認知症の方がパーキンソン病の症状が見られます。
振戦、筋固縮、無動、姿勢保持障害など。
- ・記憶障害：ご飯を食べたが、食べていないと言う
見当識障害：トイレの場所、日時、自分の子供が分からなくなる
失禁：パットの中にお小水が出る
帰宅願望：夕方になると帰りたくなる
- ・認知症は中核症状と周辺症状があります。周辺症状は心理症状と行動症状があります。

2. 省略

【第9課】

学習者の例：

○書きましょう

1.

- ・私ならLさんの話を傾聴します。今、Lさんは不安なので何を言っても聞かないので傾聴するのは一番適切だと思います。
- ・Lさんの話を受け入れて、Lさんが落ち着くようにします。
Lさんの話を否定すると、Lさんが興奮するから。
- ・私だったら、Lさんの話に耳を傾けます。なぜなら、今、Lさんを安心させることができるのはLさんしかいないからです。そして認知症の方に一番適切な対応の方法は気持ちを受け取ることだと思います。
- ・Lさんは不安そうな表情があるから、一ばん大切なのは、きょうかんすることだと思う。

2. 省略

【第10課】

学習者の例：

○書きましょう

1.

- ・カメラを設置してあります。
- ・ときどき虐待について職員の研修を行っています。
- ・毎年職員のストレスをチェックしています。問題があれば面談をします。
- ・高齢者虐待防止委員会を作る
- ・定期的に高齢者虐待の調査を行う。
- ・介助するとき、高齢者の状態を確認する。高齢者の気持ちを理解して援助する。
ストレスがたまらないようにする。
地域では高齢者がいる家族への支援
施設では虐待について勉強会を行う

2.

- ・介護者に認知症高齢者を理解してもらおう。
- ・虐待を見たら早めに地域包括支援センターに報告する。
- ・虐待についてテレビとかでアナウンスします。
- ・市町村は高齢者がいる家を訪問します。
- ・高齢者の介護に苦勞しているのが原因と考えていますから、まず
高齢者がいる家族への支援を強化する。
- ・職員の負担を減らすようにもっと職員を採用します。
- ・ときどき職員がいっしょに食事やカラオケに行くのもストレスを解消すると思います。